

2019 年度 先進情報処理メカトロニクスクラスタ M1・M2 聴講者向け資料

目標

1. 学会形式での発表を聴講し、適切な質問ができるようになること.
2. 発表に対する質問を通して、知識を自ら深めることができるようになること.

発表時間と質問準備

- 発表時間は 10 分. 質疑応答時間は最大 10 分とする.
- 聴講者全員に対して予め質問票を配布するので、発表に対する質問はすべて質問票に書き留めておく.

大ゼミ時間内の質問

- 発表に対して、各期のうち最低 1 回、後期のうち最低 1 回、大ゼミ時間内に口頭での質問を行うこと. ※必要であれば自分が質問済みであるか各自記録しておくこと.
- 1 発表者あたりの質問数は 2 件程度 (1 人の質問者による質問は 1 件とするので 2 人まで) とする.

大ゼミ時間後の質問回答

- 発表中に作成した質問票は回収し、発表後 1 週間以内に発表者により回答書が作成される. 作成された回答書は Web ページ掲載などによりフィードバックを行う.

補足事項

- 聴講に集中しメモをとり質問を組み立てる訓練を行う目的から、発表者は配付資料を用意しない.
- 大ゼミ時間終了後のレポートは課さない.
- M1、M2 問わず全員が参加すること. 就職活動や学会発表等で欠席する場合は事前にクラスタの総務担当教員に連絡すること.